

「トリアージによる奈良医大入試方式」について

- 平成25年度入学試験から、推薦選抜試験（緊急医師確保枠、地域枠）、前期日程試験において学科試験（A）を実施します。
- 学科試験（A）は、1試験時間で「数学」「英語」「理科（化学、物理、生物）」の3教科5科目を実施します。「数学」「英語」は必須回答、「理科」は（化学、物理、生物）から1科目を選択して解答します。

（参 考）

後期日程試験においては学科試験（B）を実施します。学科試験（B）は3試験時間において「数学」「英語」「理科（化学、物理、生物）」の3教科5科目を実施します。「数学」「英語」は必須回答、「理科」は（化学、物理、生物）から2科目を選択して解答します

（学科試験（B）は平成24年度までの前期日程学科試験と同じです）

- 180分の試験時間で「数学」「英語」「理科（1科目選択）」を解答しますが、問題を、どこから考えて解答すべきか、どのような時間配分で解答すべきかを「迅速」「的確」「冷静」に判断することが求められます。
- これは「災害医療」で医療従事者に求められる「治療優先度決定」の「迅速」「的確」「冷静」な判断につながるものであり、医師を目指す者にとって必要不可欠な能力です。
- こういった考えから、本学では「学科試験（A）」を「トリアージによる奈良医大入試方式」と名付け、知識だけでなく、医師を目指す者に大切な「迅速」「的確」「冷静」な判断力を見る試験として実施します。

（参 考）

【トリアージ】

《「選別」「優先割当」の意》大災害によって多数の被災者が発生した際に、どの負傷者から治療するか、どの患者を救急搬送するかといった優先順位を決めること。また、その役目。現場の人材・機材などを最大限に活用するために行う。

（大辞泉(小学館)より）

平成24年7月

奈良県立医科大学